

令和3年度

# ドイツのシュタットベルケに学ぶ新たな地域経営手法

## ～地域エネルギー事業を核とした公共サービスの運営～

少子高齢化、人口減少による厳しい財政環境において、国民生活を支える地域インフラや公共サービスをどのように維持、更新していくかが重要な課題となっています。また、近年、非常時におけるエネルギー供給の確保やエネルギーの地産地消による地域の活性化、環境負荷の軽減などの面から、自立分散型の地域エネルギーシステムが注目されています。

この研修では、ドイツのシュタットベルケ\*を参考に、地域エネルギー事業を中心とした公共サービスの運営により、地域に必要なインフラや公共サービスを持続可能なものへとつなげていく方策を考えます。

### \*「シュタットベルケ」って？

電力、ガス、水道、公共交通等、地域に密着したインフラサービスを提供するドイツの公益事業体です。ドイツ全土で約900あると言われており、地元の自治体によって出資されています。再生可能エネルギーの導入が進むドイツでは、地域資源を有効活用した地域エネルギー供給の取組が進んでおり、シュタットベルケはその中心的な役割を担っています。

### 開催要領

日 程

令和3年6月21日(月)～6月23日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村の環境政策、企画、公営企業、都市計画、まちづくり等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。  
 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年5月10日(月)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。  
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

6月  
21日(月)

11:00~

**入寮受付・昼食**

12:30~

**開講・オリエンテーション**

13:00~14:10

**講義 シュタットベルケに学ぶ新たな地域経営手法**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

人口減少下の厳しい財政環境において、地域インフラや公共サービスの維持・更新等、地域の課題を解決するにはどのようにすればよいのか。新たな地域経営手法として注目されているドイツのシュタットベルケから、日本の自治体が学ぶべきポイントなどについてお話しいただきます。

14:25~15:55

**講義 ドイツのシュタットベルケの仕組みと日本への適用に向けたポイント**

立命館大学経営学部 教授 ラウパッハ・スミヤ ヨーク 氏

ドイツの事例をもとに、シュタットベルケの特徴や仕組みをご説明いただくとともに、シュタットベルケの日本への適用に向けたポイントや、導入する際の留意点についてお話しいただきます。

16:10~17:00

**演習導入講義 日本の自治体における地域エネルギー施策の現状とシュタットベルケの導入方法**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

シュタットベルケを日本で導入する場合のポイントや条件、その効果などについて、お話しいただきます。

17:30~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

**事例紹介① 産学官連携での木質バイオマス発電所の建設**

長野県松本地域振興局林務課 課長 千代 登 氏

長野県、塩尻市、民間企業、大学など産学官連携体制のもと、森林の再生や林業・木材産業の振興を図る「信州Fパワープロジェクト」が進められています。プロジェクトの経緯や木質バイオマス発電所の建設、連携体制等についてご紹介いただきます。

10:50~12:00

**事例紹介② 地元の企業と連携した自治体新電力事業**

ローカルエナジー株式会社 プリンシパルコンサルタント 上保 裕典 氏

米子市・境港市及び地元企業5社の出資により、エネルギーの地産地消による地域経済の自立を目指して設立された地域エネルギー会社。地方自治体と地元企業が連携し、公共施設への電力供給や蓄電池の設置による減災対策、環境教育を通じた人材育成等、地域に貢献する事業に取り組んでいる事例をご紹介します。

13:00~14:10

**事例紹介③ 市民団体が出資に加わる全国初の自治体新電力**

奈良県生駒市地域活力創生部SDGs推進課 主幹 木口 昌幸 氏

エネルギーの地産地消、地域活性化を目指し、地域エネルギー会社「いこま市民パワー株式会社」が設立されました。市民団体が出資に加わる全国初の自治体新電力です。新電力の立ち上げの経緯や市民団体との関わり、自治体新電力の収益を活用した市民サービス等についてご紹介いただきます。

14:25~17:00

**演習 地域エネルギー事業を核とした地域の活性化**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

これまでの講義内容及び先進事例をもとに、シュタットベルケの仕組みを取り入れながら、地域の活性化につなげるための地域エネルギー事業を核とした方策について、グループで検討します。

17:00~

**課外学習**

9:15~11:50

**演習 発表・講評**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。

11:50~12:20

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

※全日程、京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏にご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。